

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	83%	17%	0%	・スペースは十分に確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	17%	50%	33%	・示されている配置基準は満たしている。 ・基準配置は満たしているが、個別対応が必要な利用児がご利用するときには、職員間で連携を強化して支援している。 ・ペースが違うご利用児に対しては、職員間の効率的な連携で支援している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	0%	50%	・デイルームから園庭に出る場所には段差があり、手すりもなく、歩行が不安定な利用児には、手を繋ぐ等の支援をしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	33%	67%	0%	・月に一度の事業会議や事業所内での目標設定、振り返りは行われている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	67%	33%	0%	・年に一度の評価表の活用、また、事業団内独自のアンケートも実施した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	50%	50%	0%	・ホームページや事業所内に提示して公開している。 ・ガイドラインの周知及び情報の共有を図っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	84%	16%	・外部評価は受けてないが、外部より委員を招き、生活相談日を開催している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	50%	0%	・法人全体の研修や自己啓発に繋がる個別研修の確保を積極的に行っている。 ・他事業所から人事異動する際には、もっと入念な業務の引き継ぎが行われるべきと思う。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	50%	0%	・児発管を中心にモニタリング会議やアセスメントを適切に行い、放課後等デイサービス計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%	0%	・児童通所全体で同じものを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	0%	・立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%	0%	・活動プログラム作成担当者を中心として工夫した計画ができています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%	0%	・利用児の特性に合わせ、楽しめる内容を職員間で考察している。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	50%	0%	・ 児発管を中心にアセスメントや日常の活動を通じて児童の状況を把握し、支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	0%	・ 前日、もしくは当日の朝に行っている。 ・ 勤務により十分に行える時間がない日もあるが、職員間での伝達は漏れの内容に行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%	0%	・ 特記事項については当日行うこともあるが、翌日振り返りを行い情報共有している。 ・ 勤務によって十分に行える時間がない日もあるが、職員課での伝達は徹底している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%	0%	・ 日々記録を作成し、支援の振り返りを行っている。 ・ 記録と併せ日頃から職員間で情報共有を図り、支援に活用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	50%	0%	・ 児発管を中心にモニタリングを行い、見直しを行っている。 ・ 定期的なモニタリング以外にも職員間で児童の状況について情報共有を図っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	50%	50%	0%	・ 職員間でガイドラインの周知に取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%	0%	・ 児童発達支援管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	67%	33%	0%	・ 行事予定や下校時刻や児童の学校の様子について密に連携を図っている。 ・ 学校で起きたトラブルについては担当者より情報を得て、事業所での支援に繋げている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	17%	66%	17%	・ 医療的ケア児の受け入れは行っていない。 ・ 該当する児童はいないが、身体的な支援がいる児童については配慮している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	33%	0%	・ 必ず行っている。 ・ 児発管を中心に利用前の担当者会議等に参加し、事業所、保護者からの児童の情報共有を図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%	0%	・ 保護者の了承を得て行っている。 ・ 児発管、担当者を中心に移行前の担当者会議等に参加し、事業所、保護者への情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67%	33%	0%	・ 児童発達支援センターでの年3回の研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	83%	17%	・ コロナウイルス感染症防止対策の観点から積極的には行えていない。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	33%	50%	17%	・ 市から依頼があれば担当者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	33%	0%	・ 日々の送迎や定期的な支援会議、モニタリング会議で情報共有を図っている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%	0%	・今年度は年に2コースの開催をした。 ・担当者がペアプロを紹介している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	33%	0%	・契約時に児発管が行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	50%	0%	・相談があった時は迅速且つ各関係機関とも連携しながら支援を行っている。 ・一度持ち帰り、職員間で情報共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	68%	16%	16%	・親子でのふれあい活動や保護者懇談会を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%	0%	・苦情等について真摯に受け止め改善に向けて迅速に対応している。 ・上司に報告し、迅速な対応を心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	67%	33%	0%	・月に一度、送付文書を各保護者へお渡ししている。 ・文書と併せ、送迎時等で直接保護者へお知らせすることもある。
	35	個人情報に十分注意しているか	83%	17%	0%	・慎重な取り扱い、かつ第三者へは情報を漏らさないことを徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%	33%	0%	・個々に応じて配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	83%	17%	・感染症防止対策の観点から積極的には行っていない。 ・コロナ禍のため制限があるが、「どんぐり広場」を感染防止を行いながら開催した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	50%	0%	・各種マニュアルは各職員で周知しているが、保護者へすべて周知してはわけではない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83%	17%	0%	・月に一回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	50%	50%	0%	・月に一度、担当者による虐待防止委員会を開いている。また、研修やアンケートによる自己啓発も行われている。 ・外部講師による研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	67%	33%	0%	・できている。 ・虐待防止委員会の中で身体拘束の適正化に向けての会議を行い、やむを得ないときには保護者の意向も伺い、身体拘束の同意をいただいている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	67%	33%	0%	・アセスメントの際に、保護者より聴き取りを行い、職員間で周知徹底を図っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	・月に一度リスクマネジメント委員会開催し、事例について検証、事故防止対策を考案している。